

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プラスアップ習志野教室		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの内容や子どもにあわせた支援方法、活動スペースの広さについては肯定的な意見が多く見られた。	新しい事や保護者、子ども達のニーズを取り入れ活動プログラムが固定化しないようにしている。運動以外にも外出イベントや調理活動を取り入れている。 子どもがのびのびと身体を動かし怪我などがないように活動スペースを確保している。	積極的に保護者や子ども達の意見を取り入れていくとともに職員間で意見を出し合いより充実した活動プログラム、支援が実施できるようにしていく。
2	こどもや保護者との意思疎通や保護者との子どもの様子や発達状況についての共通理解などは肯定的な意見が多く見られた。	面談時や送迎時に事業所での様子を伝えるとともに家庭や学校での最近の様子を共有している。また連絡ノートや電話メールを活用し細かく情報共有している。	家庭の状況や利用方法によっては保護者と直接会う機会が少ない家庭もあるため、電話やメールを活用しこどもや保護者が安心感を持って利用できるようにしていく。
3	「個別支援計画」の作成やその計画に沿った支援が行われている。また契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担などの説明については丁寧な説明が行われているとの意見が多く見られた。	定期的ヒアリングシートを元に面談を行い個別支援計画を作成し実施している。保護者との相違が無いように面談時、契約時には丁寧な説明を心掛けている。	時間に余裕をもった面談や説明のため面談日時は保護者の希望に柔軟に対応できるようにしていく。 家庭・学校の様子を聞いて総合的に支援計画をしていく。引き続き、教室での様子を伝えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもと活動する機会については、否定的な意見やわからない、どちらともいえないなどの意見が見られた。	外出活動や児童館など利用し他の子ども達との交流の機会もありますが、中には外出イベントに参加できない児童がいる。外出活動については事前に告知し希望があれば利用できるようにしていくとともに、実施した活動内容をおたより等で周知してもらおう。	外出活動に対して否定的な意見も見られた。子どもの特性を踏まえ、外出活動を行う際にはおたよりや利用希望表を活用して周知していく。また保護者との情報共有を細かく行う事で負担なく安全に外出活動ができるようにしていく。
2	保護者会や保護者同士の交流の機会、家族支援プログラムや保護者向けの研修会などの情報共有は行われていない、分からない、どちらともいえないといった意見が見られた。	住んでいる地域が広範であることや、家庭の状況により保護者の参加が難しいご家庭も多く保護者の交流の機会はなかなか設けられていません。またなくてもいいといった意見も見られました。	保護交流、家族支援を必要としているのか保護者の方にヒアリングし必要に応じて実施していきたい。
3	避難訓練の実施や事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルが策定されているかなどわからないと言う意見が見られた。	避難訓練の実施や事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは策定しているが、保護者へ伝達する機会が少ない為、保護者へ伝える事ができていない。	避難訓練を実施した際には、おたよりや連絡ノートで情報共有していく。各種マニュアルは契約時の面談などで策定されている事を伝えている。